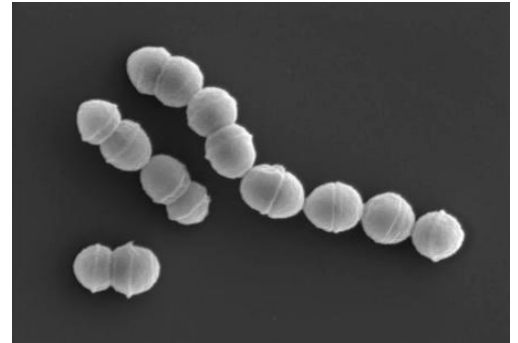


## 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

最近ニュースで「人喰いバクテリア」という言葉を目にしませんか？正式名称は「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」といいます。**今年、全国的に感染者が増加しています。**今回はこの病気についてご紹介していきます。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症は、主に A 群溶血性レンサ球菌により引き起こされる感染症で、一般的には急性咽頭炎などを引き起こす細菌ですが、まれに引き起こされる重症化したものをいいます。通常は細菌が存在しない組織（血液、脳脊髄液、筋肉など）に溶血性レンサ球菌が侵入し急激に重症な症状を示します。



\* 小児が多く罹患する A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは区別されています。

### 発生状況

日本の 2024 年の劇症型溶血性レンサ球菌感染症の報告数は、6 月 2 日時点で、1999 年に統計を取り始めて以降最多であった 2023 年の報告数を既に超えています（厚生労働省のホームページより）。

| 年          | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023<br>(速報値) | 2024(~6/2)<br>(暫定値) |
|------------|------|------|------|------|---------------|---------------------|
| 報告数<br>(人) | 894  | 718  | 622  | 708  | 941           | 977                 |

近年、患者数が増加している理由はいまだにはありませんが、COVID-19 の対策が緩和された 2022 年以降、世界的に多くの地域で増加が確認されており、日本のみには限定されるものではありません。

### 症状

初期症状は四肢の疼痛、腫脹、発熱、血圧低下などが見られます。発病から症状の進行が非常に急激かつ劇的で、発症後数十時間以内に筋肉周辺組織の壊死をおこしたり、血圧低下から多臓器不全からショック状態に陥り、死に至ることもあります。死亡率は約 30%とされています。

## 治療

治療はペニシリン系抗菌薬といわれる抗菌薬が第一選択薬となります。  
この抗菌薬自体は様々な感染症に使用される一般的な抗菌薬です。  
しかし、抗菌薬の治療のみでは改善が困難な場合も多く、壊死に至った軟部組織などは  
広範囲の病巣の除去が必要となります。

## 予防方法

では、この恐ろしい感染症にかからないためには日常生活でどのようなことに気を付け  
ればよいのでしょうか？

感染経路は傷口や粘膜などと言われますが、はっきりしないことも多いです。

しかし、劇症型溶血性レンサ球菌感染症に限らずどのような感染症も基本的な感染予防対  
策が有効です。

### ①手洗いなどの手指衛生

### ②咳エチケット

この2つが重要です。

**感染症対策**  
へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

**①手洗い 正しい手の洗い方**

手洗いの前に  
・爪は短く切っておきましょう  
・時計や指輪は外しておきましょう

1 流水でよく手をぬがした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。  
2 手の甲をのばすようにこすります。  
3 指先・爪の間を念入りにこすります。  
4 指の間を洗います。  
5 親指と手のひらをねじり洗います。  
6 手首も忘れずに洗います。

石けんを洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

**②咳エチケット 3つの咳エチケット**

電車や職場、学校など人が集まる場所でやる

マスクを着用する（口・鼻を覆う）  
ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う  
袖で口・鼻を覆う

**正しいマスクの着用**

1 鼻と口の両方を確実に覆う  
2 ゴムひもを耳にかける  
3 隙間がないよう鼻まで覆う

何もしずに咳やくしゃみをする  
咳やくしゃみを手でかき止める

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan  
厚生労働省  
■詳しい情報はこちら  
厚労省 検索

また、傷口を汚い手で触らない、傷口を清潔に保つことも大事です。

上に書いたような症状が現れた時や、それ以外でも発熱や咳や全身倦怠感などで食事が取れないなどの体調が悪いときは、かかりつけの医療機関などを受診しましょう。

